

本日は、「幸せ」ということについてもう一度おさらいをしたいと思えます。

私たちが幸せだと感じることは、一人一人違います。そこでよく考えて頂きたいのは、私たちが感じている幸せや幸福というのは、「苦しみ」があってこそだということです。私たちには、様々な苦、悩みや悲しみがありますが、それによって幸せというものを感じています。苦しいことがあった時に、少しでも良いことがあると「ありがたいな、幸せだな」と感じますが、本当は苦しみや悩みがなくても「幸せだ」と感じる事ができるのです。

どうすればそうなれるのか。会主さまは「人間に生まれてくるということは霊界で、佛さま・神さま・閻魔さまに対して『良いことをします』と、誓ったからなんだよ」と、おっしゃいました。

私たちが人間として生まれてきたのはなぜか。

それは良いことをするために生まれてきたのです。それなのに人間というのは、「業」を持っているために、良いことよりも悪いことの方を多くしてしまっています。その結果苦しみや悩みが生まれ、その反動で幸せを感じているのです。そういう幸せというのは、業の中で発生している幸せであって、初めから悪いことをしなければ、悩み苦しみはないのです。

ですが仕方ないかと諦めてはいけません。苦しみや悩みの反動ではない幸せ・幸福感を持つことが、妙智會の教えであり、会主さまの教えです。

会主さまは「良いことをして、初めて幸せを感じるのです」とおっしゃいました。これが妙智のみ教えから頂く幸福感です。

そして会主さまは、「正しい先祖供養・正しい流産児供養・正しい因縁成佛」を遺されました。「ご先祖さまに、流産児に、因縁に喜んで頂く行いをする。これほど素晴らしい行いはない」とおっしゃいました。親孝行もそうです。孝行することは、人間として当然だと大恩師さまはおっしゃいました。親孝行こそが、我々が人間として生まれてきた、やるべき道なのです。

私たちは、孝行し、供養し、因縁を成佛させることによって、苦しみ悩みから発生する幸せではない、本当の意味の幸せ、幸福感が得られるのです。

なのに、私たちはやらない。修行が出来ていないのです。

この尊い会主さまの教えを頂いているならば、私たちはそれを何があってもやり通していくのです。

「ご先祖さま、流産児が救われている。因縁が解決している。ああ幸せだな」そう感じる心と身体を持つことが、妙智會からの、会主さまからの幸せなのだとということを実感してください。

ぜひ皆さんには、今この場で、気持ちを変えて頂きたい。会主さまを信じてください。会主さまの教えを信じてやり通してください。本当の意味の幸せを頂戴してください。その幸福感を味わってください。これが私の今、心から皆さんにお願いすることであり、慈悲であります。それを体験すれば、導きもできますよ。

支部長、役員、一般の会員さん関係なく、みんなで会主さまの教えを信じて、本当の意味で幸せになってください。何度もお願いします。そして、ぜひそれを、体験してください。よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。